

登録コード	L1341200	開講年度	2026	
担当教員	佐藤 広英	副担当		
授業科目	文化情報論発展演習 X			
英文授業名	Cultural Informatics: Advanced Seminar X			
授業タイトル	文化情報論発展演習IX			
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 金曜・2時限
講義室	人文2 1 4 演習室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ			
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	心理学, 社会心理学, 社会学の研究領域の基礎理念や研究手法を理解できるようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】		⇔	英語文献の内容を批判的に読み解き、自分なりの意見を的確に表現できるようになる。
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	心理学, 社会心理学, 社会学に関する英語文献を購読し, その内容に基づいて受講者間でディスカッションを行う。同分野の基礎理念と代表的な研究手法を習得することを中心的な課題とする。			
授業計画	第1回 ガイダンス（発表, SNS運営の割り当て） 第2回 研究構想発表（2～3年生） 第3回 研究発表・ディスカッション（3年生） 第4回 研究発表・ディスカッション（3年生） 第5回 論文発表・ディスカッション（2年生） 第6回 論文発表・ディスカッション（2年生） 第7回 論文発表・ディスカッション（2年生） 第8回 研究発表・ディスカッション（4年生） 第9回 研究発表・ディスカッション（4年生） 第10回 英語論文発表・ディスカッション（3年生） 第11回 英語論文発表・ディスカッション（3年生） 第12回 英語論文発表・ディスカッション（2年生） 第13回 英語論文発表・ディスカッション（2年生） 第14回 英語論文発表・ディスカッション（2年生） 第15回 総評とまとめ, 授業アンケート ※受講生それぞれが関心を持った論文・教科書の内容を発表する。			
成績評価の方法	授業への取り組み（報告, ディスカッション, 講評）（100%）を基に, 心理学, 社会心理学, 社会学領域の基礎理念や研究手法の理解度を評価する。授業では積極的な参加と発言を期待する。			
成績評価の基準	「卓越している」：研究領域の基礎理念や研究手法を発展的に理解でき, 自分なりの意見を的確に表現できる。 「かなり上にある」：研究領域の基礎理念や研究手法を十分に理解でき, 自分なりの意見を的確に表現できる。 「やや上にある」：研究領域の基礎理念や研究手法を十分に理解できる。 「その水準にある」：研究領域の基礎理念や研究手法を最低限理解できる。			
事前事後学習の内容	事前学習として, 授業で購読予定の文献に目を通しておくこと。事後学習として, 授業を踏まえた文献に対する意見や感想を講評シートとして提出すること。また, 文献購読時に分からなかった部分は自主的に調べ, 文献の理解を深めること。 ※60時間以上の時間外学習が必要となります。			
履修上の注意	3年次以降, 研究室への配属を希望する2年生は出来る限り受講すること。			
質問・相談への対応	メール (hirotsune@shinshu-u.ac.jp) にて受け付ける。			
教科書	使用しない。			
参考書	適宜紹介する。			